

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	福祉電話貸与者助成事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03010402
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	高齢者・介護保険係	作成担当者名	島立広樹
				連絡先	336

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進							
				細施策	05	地域自立生活支援							
				事務事業		—							
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	03	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者等（低所得世帯の者）に対して、福祉電話を貸与する。											
	現状と背景 （どうして）	外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者は、コミュニケーションの手段が確保されないことから、社会的孤立に繋がってしまう可能性が高くなってしまったため。											
	目的	受益者 （誰のために）	外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者であって低所得世帯の者										
		対象 （直接働きかける）	同上										
		意図 （どんな状態にしたいか）	外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者宅に、福祉電話を設置することで、コミュニケーションや緊急連絡手段の方法を確保することができる。										
	手段・方法 （どうやって）	対象者からの申請に基づき、審査し、適当（所得要件、コミュニケーション・緊急連絡手段が福祉電話以外ない）と認められた時は、福祉電話を設置する。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		福祉電話が設置される	福祉電話新規設置数	件	当年度中に福祉電話が設置された件数	1							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		コミュニケーション・緊急通報手段が確保される	福祉電話利用者数	人	継続して福祉電話を使用している者の数	2							

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	64,794	43,792	45,570	25,620	34,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	64,794	43,792	45,570	25,620	34,000	
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	
O （ ）	活動指標	福祉電話新規設置数	目標	件	1	1	1	1
			実績	件	0	0	0	0
		達成率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	—	目標	—					
		実績	—					
		達成率	%	—	—	—	—	—
	成果指標	福祉電話利用者数	目標	人	3	2	2	2
			実績	人	3	2	2	2
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—					
実績		—						
	達成率	%	—	—	—	—	—	
備考								

事務事業名	福祉電話貸与者助成事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010402
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	高齢者・介護保険係	作成担当者名	島立広樹	連絡先	336

期	目標	実績	課題
第1期	継続して利用している者が引き続き利用できるよう、期限内に回線使用料を支払う	期限内に回線使用料の支払いを行った	回線使用料を支払うのみの事業となっており、事業の効果の検証が困難
第2期	継続して利用している者が引き続き利用できるよう、期限内に回線使用料を支払う	期限内に回線使用料の支払いを行った	回線使用料を支払うのみの事業となっており、事業の効果の検証が困難
第3期	継続して利用している者が引き続き利用できるよう、期限内に回線使用料を支払う	期限内に回線使用料の支払いを行った	回線使用料を支払うのみの事業となっており、事業の効果の検証が困難
第4期	継続して利用している者が引き続き利用できるよう、期限内に回線使用料を支払う	期限内に回線使用料の支払いを行った	回線使用料を支払うのみの事業となっており、事業の効果の検証が困難

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 現在利用している者の回線使用料を支払うのみの事業となっている。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 新規での設置はなく、事業自体は縮小傾向にあるが、現在の利用者が引き続き利用できるよう、予算は計上していく。	皆減縮小現状維持拡大大 コスト投入の方向性																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点			レ	レ	2					4					4	C
チェック																

課題	前					後				
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定
新規での設置は数年来なく、これまでの利用者も死亡等に伴い、利用中止となり、利用者は減少している。 平成27年4月以降は、1名の利用のみとなり事業の継続について検討する必要性が生じている。										
記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要										
前年度総合評価判定						C				
前年度評価シート整理番号	03010454									

総合評価	前					後				
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定
高齢者数や独居世帯数は増加していることから、地域には外出が困難な重度障害者や独り暮らし高齢者が、福祉電話利用者以外にもいるものと思われるが、各家庭の多くに電話回線が引かれ、携帯電話の普及に伴い、コミュニケーション手段がない中生活されている重度障害者や独り暮らし高齢者は少なくなっており、今後も新規での設置見込は少ないと思われる。										
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	前					後				
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定
成果の方向性										
拡充										
現状維持										
縮小										
休廃止										
皆減縮小現状維持拡大大 コスト投入の方向性										

改革・改善策	地域に訪問することが多い、保健福祉サービスセンターや民生委員に事業の紹介を行い、ニーズの発見に繋げる。	地域に訪問することが多い、保健福祉サービスセンターや民生委員に事業の紹介を行い、ニーズの発見に繋げる。
--------	---	---

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	民生児童委員活動支援事業費			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010205				
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	久保山 貴博			連絡先	303				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
			施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進								
			細施策	06	生涯学習の推進と地域福祉の担い手の育成								
			事務事業	01	民生児童委員活動支援事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域住民の福祉の増進、かかえた問題への援助・指導、行政機関への協力パイプ役等を職務とした民生・児童委員活動を支援をする。											
	現状と背景 （どうして）	社会・経済状況の変化に伴って様々な社会福祉課題が生まれ、問題の広がりや内容の複雑化・高度化されている。民生児童委員はこのような状況を受け止めながら、住民の立場に立ってきめ細やかな相談・援助をしなければいけない。このために地域住民の信頼と期待に応えるよう日々研鑽を重ね、識見の向上に努めなければならない。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	民生児童委員及び協議会										
		対象 （直接働きかける）	同上										
		意図	地域で福祉の中心的役割として、住民への見守り活動や個別支援活動を行い、地域関係組織との協働・連携を取り、安心して住みつけられる地域づくりのために活動する。										
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員と行政及び民生児童委員相互間の情報交換や連携の強化を図るため民生児童委員協議会役員会（月1回）を開催する。 ・常に識見の向上に努め、あらゆる問題に対応できるよう技術の習得等の資質向上のため各種研修会への参加要請を配布する。 											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		民生児童委員協議会役員会を開催する	民生児童委員協議会役員会開催数	回	月1回開催する				12				
		各種研修会への参加を要請する	各種研修会参加要請回数	回					20				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		積極的な民生児童委員活動	民生児童委員活動延日数	日	民生児童委員活動記録による人数				20,000				
		民生児童委員としての資質向上を図ってもらう	研修会等参加率	%	各研修会参加率				90				

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	10,413,417	19,019,110	18,323,419	18,299,327	21,333,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円		8,098,020	8,092,950	8,092,950	8,140,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	10,413,417	10,921,090	10,230,469	10,206,377	13,193,000
	職員数						
	正規職員	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	185.00	340.00	329.00	330.00	439.00	
活動指標	民生児童委員協議会役員会開催数	目標	12	12	12	12	12
		実績	14	12	12	12	12
	達成率	%	116.67	100.00	100.00	100.00	—
	各種研修会参加要請回数	目標	20	20	20	20	20
		実績	21	21	20	21	20
	達成率	%	105.00	105.00	100.00	105.00	—
—	目標	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	—	
成果指標	民生児童委員活動延日数	目標	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		実績	22,785	19,544	19,148	17,322	20,000
	達成率	%	113.93	97.72	95.74	86.61	100.00
	研修会等参加率	目標	90	90	90	90	90
		実績	91	87	85	84	90
	達成率	%	101.11	96.89	94.00	92.89	100.00
備考							

事務事業名	民生児童委員活動支援事業費	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010205
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	久保山 貴博	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	県外研修の実施、他市町村民生委員との交流会の実施、定例役員会の実施	県外研修(オムロン京都太陽織工場見学等)、定例役員会を実施	今後の県外研修の内容をどのように計画するか、研修で得た経験等をいかに委員活動に活用するか
第2期	全体研修の実施、県主催民生児童委員会長研修への参加、定例役員会の実施、	全体研修として諏訪東京理科大学教授・篠原先生による講演(脳を鍛えるトレーニング)を実施、県主催民生児童委員会長研修への参加、定例役員会を実施	全体研修の後に行ったアンケートでは概ね高評価であった。委員としての活動の負担を自己の為に前向きに捉えられる機会となった。来期の一斉改選後もこのような機会を継続して作られるか
第3期	県内研修の実施、県主催民生児童委員研修会への参加、定例役員会の実施	県内研修として上田市の福祉施設(まるこ福祉会)を訪問。県主催民生児童委員および主任児童委員研修会への参加、定例役員会を実施	県内研修では2年続けて講演会であったが県内施設への訪問を実施した。アンケートでは県内他市町村民生児童委員との交流会の希望もあり、今後の活動計画に反映していく必要がある
第4期	総会の実施、これに向け平成27年度事業内容の確認、平成28年度事業計画の検討、定例役員会の実施	総会、定例役員会を実施。総会に向け平成27年度事業について事業報告、会計監査および報告を実施。また平成28年度の計画を立案。	各種事業後のアンケート等を役員会で検討し、意見を反映した事業計画を策定した。総会の時期については、年度末の実施となっているため来期以降は年度終了後に実施していく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
平成28年度は、民生児童委員の一斉改選の年度となるため、これに伴い退任者および新任者に対する予算が必要となります。	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	平成25年度は、民生児童委員を一斉改選し約3分の2の委員が新任となっており、平成28年度の一斉改選においては2期以上継続してもらうための働きかけが課題となります。															
CH E C K	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
	前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号					

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
地域福祉の担い手となる民生児童委員が活動しやすいように、市民との連絡調整、事務的支援を行いました。今後も、民生児童委員の資質向上を支えるため、学習や研修等の機会を出来るだけ利用しやすくなる様に効率良い支援の手法を検討していくことが必要です。	地域福祉の担い手となる民生児童委員が活動しやすいように、市民との連絡調整、事務的支援を行いました。今後も、民生児童委員の資質向上を支えるため、学習や研修等の機会を出来るだけ利用しやすくなる様に効率良い支援の手法を検討していくことが必要です。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
改革・改善策	成 果 の 方 向 性 拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 休 廃 止
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
	地域住民への支援は依然として多く、相談内容は幅広くはなっているが市の事業費は拡大出来ない。こうした中で、各種研修会の参加率等をあげるため、連絡・通知方法を見直していきます。また、市で実施する研修については、より実務で役立つような研修内容に見直していきます。	地域住民への支援は依然として多く、相談内容は幅広くはなっているが市の事業費は拡大出来ない。こうした中で、各種研修会の参加率等をあげるため、連絡・通知方法を見直していきます。また、市で実施する研修については、より実務で役立つような研修内容に見直していきます。

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹 内 武
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		日赤奉仕団活動支援事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010206								
担当部署		健康福祉部		地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名		久保山 貴博		連絡先	303							
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり												
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進												
				細施策	05	地域自立生活支援												
				事務事業	05	災害時要援護者対応事業												
画	予算事業名								会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	05
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		茅野市赤十字奉仕団事務局として、日本赤十字社との事務連絡窓口や奉仕団活動の推進、支援を担っている。															
	現状と背景 (どうして)		日本赤十字社茅野市地区の事業の一つとして、赤十字奉仕団がある。地域に根ざした活動を通じて、災害救援や福祉活動に取り組むため奉仕団活動の推進、支援を行う必要がある。															
	目的	対象	受益者 (誰のために)	茅野市赤十字奉仕団員														
対象		対象 (直接働きかける)	同上															
的	意図 (どんな状態にしたいか)	茅野市赤十字奉仕団が地域に根ざした活動を通じて、福祉活動やいざという時の災害救援体制を備える。																
	手段・方法 (どうやって)	茅野市赤十字奉仕団長の指揮の下、市内全地区に分団を配置し赤十字の使命とする人道的な諸活動を身近な社会の中で実践する。又、各分団は有事の場合に備えて、団員の増強を図り連絡体制を整える。 茅野市赤十字奉仕団との情報交換や連携の強化を図るため、役員会を開催する。 赤十字奉仕団員としての的確な活動ができるよう、技術の習得等の資質の向上のため、各種研修会や講習会への参加要請を行う。																
N	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
			市内全地区に分団を置く	茅野市赤十字奉仕団分団数	分団	分団の数			10									
		茅野市赤十字奉仕団との打合せ会議開催	茅野市赤十字奉仕団役員会開催数	回	役員会の開催数			6										
		成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
赤十字奉仕団活動の充実	奉仕活動参加分団数	分団	奉仕団活動を行った分団数			10												

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円	61,000	385,729	50,000	159,128	263,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	61,000	385,729	50,000	159,128	263,000	
	職員数	人	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11		
対象(者)数								
延利用(者)数(b)								
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	1.00	7.00	1.00	3.00	20.00		
D O	活動指標	茅野市赤十字奉仕団分団数	目標	分団	10	10	10	10
			実績	10	10	10	10	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-	
	茅野市赤十字奉仕団役員会開催数	目標	回	6	6	6	6	
		実績	5	5	5	5		
	達成率	%	83.33	83.33	83.33	-		
	-	目標	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
	達成率	%	-	-	-	-		
	成果指標	奉仕活動参加分団数	目標	分団	10	10	10	10
実績			10	10	10	10		
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00		
-	目標	-	-	-	-			
	実績	-	-	-	-			
達成率	%	-	-	-	-			
備考								

事務事業名	日赤奉仕団活動支援事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010206
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	久保山 貴博	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	新年度事業計画の策定	平成27年度事業計画の策定、奉仕団役員会の実施。研修会の開催、赤十字活動資金(日赤募金)の実施。	赤十字活動資金(日赤募金)について、各地区からの要望をどう反映させるかが課題。
第2期	年間計画に基づく、日赤長野県支部主催赤十字奉仕団幹部研修会参加、赤十字奉仕団の茅野市総合防災訓練参加、日赤募金の集計送金。	年間計画に基づく、日赤長野県支部主催赤十字奉仕団幹部研修会への参加、泉野地区でのここに健康教室の実施、赤十字奉仕団の茅野市総合防災訓練参加。	日赤募金について、募金額が年々減少傾向にありどうすれば増加させることができるかが課題。茅野市総合防災訓練への参加は平成27年度までとし、今後は各地区の防災訓練へ参加する。
第3期	年間計画に基づく、赤十字奉仕団の役員研修視察の実施、日赤募金の集計送金、およびデータ送付。	赤十字奉仕団の役員研修視察(赤十字歴史資料館等)の実施、日赤長野県支部へ赤十字活動資金(日赤募金)の集計送金、データ送付。	役員研修として検討していた神城断層地震の被災地(白馬村)への視察等を翌年度以降に計画する
第4期	来年度奉仕団員の選任準備	分団長へ奉仕団員の選出依頼	奉仕団員の各地区各区自治会での位置付を考え活動の充実を図る

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 茅野市総合防災訓練へ奉仕団として参加してきたが、同日に防災訓練を実施する地区等が増えてきているため、奉仕団員の参加が難しくなっている。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 平成28年度からは、茅野市総合防災訓練へは参加せずに、各地区等での防災訓練へ参加することとする。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	奉仕団員の高齢化。 奉仕団員が災害時等に的確な行動が出来るため研修(内容・回数)の見直し。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		大規模地震等の災害時の救援において、初期支援体制の地域差をなくすために、善奉仕団員への講習会による知識の習得や、市全体及び各分団における防災訓練の充実が必要である。					大規模地震等の災害時の救援において、初期支援体制の地域差をなくすために、善奉仕団員への講習会による知識の習得や、市全体及び各分団における防災訓練の充実が必要である。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ	
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小			
		休 廃 止	①				休 廃 止			
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	現状の市財政において、赤十字奉仕団活動を維持し内容が充実できるよう支援していく。					現状の市財政において、赤十字奉仕団活動を維持し内容が充実できるよう支援していく。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹 内 武
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保護司会事務局事務			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010203
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人			連絡先	303
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり				
			施策	07	第7節 生活支援と社会保障の充実				
			細施策	01	生活支援の充実				
			事務事業	02	各種援護事業				
予 算 事 業 名								会計コード	001 款 03 項 01 目 01 事業 03
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	茅野市保護司会の運営に関する事務局事務 ・茅野市保護司会の事業 役員会・理事会 定期総会 各部による活動（総務部・研修部・犯罪予防活動部・広報部） 更生保護大会への参加 各運動への協力（社会を明るくする運動・青少年を非行から守る運動・青少年健全育成活動）								
現状と背景 (どうして)	地域社会における連帯感の減少や人間関係の希薄化等、社会情勢は大きく変化している。社会奉仕の精神をもって、犯罪を犯した者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪予防のため世論の啓発に努める保護司の活動を推進、支援するために茅野市では事務局を引き受けている。								
目 的	受 益 者 (誰のために)	保護司会							
	対 象 (直接働きかける)	保護司							
	意 図 (どんな状態にしたいか)	保護司会活動が円滑に行えるようにする。							
手 段・方 法 (どうやって)	茅野市保護司会の運営に関する事務局事務を行う ・計画に基づく各種研修会への参加要請（会議室予約、開催通知の発送、参加人員の把握、資料等の準備など） ・保護司会の事業が円滑に行われるよう援助 ・保護司会の組織力を高めるよう役員との連携を図り、役員会の開催								
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値	
		保護司会活動を促進するため役員会等の開催	会議等開催回数	回	茅野分区保護司会役員会等の開催回数			10	
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値	
		保護司会の活動の充実	活動日数	日	茅野分区保護司会活動日数			24	

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円	82,800	189,800	203,300	230,300	287,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	82,800	189,800	203,300	230,300	287,000
職員数						
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
対象(者)数	人	20	21	18		
延利用(者)数(b)	人	20	21	18		
単位コスト(a)/(b)	円	4,140	9,038	11,294	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	1.00	3.00	4.00	4.00	5.00
D 活 動 指 標	会議等開催回数	目標	回	10	10	10
		実績	回	8	8	9
	達成率	%	80.00	80.00	80.00	90.00
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	—	—	—	—	
O 成 果 指 標	活動日数	目標	日	24	24	24
		実績	日	26	24	24
	達成率	%	108.33	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	—	—	—	—	
備 考						

事務事業名	保護司会事務局事務	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03010203
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	諏訪地区保護司会総会への支援や社会を明るくする運動強調月間(7月)に向けた準備の支援を行います。	諏訪地区保護司会総会資料の作成支援、社会を明るくする運動実施に伴う街頭啓発等の準備を行いました。	社会を明るくする運動強調月間の準備、更生保護女性会との合同事業の準備を進める。
第2期	社会を明るくする運動の実施(街頭啓発、作文コンテスト等)、更生保護女性会との合同事業を実施します。	社会を明るくする運動(街頭啓発、作文コンテスト作品応募学校依頼等)を実施しました。更生保護女性会と保護司会の合同事業の支援をしました。	長野県更生保護大会、更生保護女性の集いに向けた支援の実施。保護司会・更生保護女性会県外研修視察への支援実施。
第3期	長野県更生保護大会、更生保護女性の集いに向け支援を行います。保護司会・更生保護女性会県外研修視察への支援実施します。	長野県更生保護大会、更生保護女性の集い参加に向け支援を行いました。保護司会・更生保護女性会県外研修視察への支援実施しました。	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式準備等の支援をします。
第4期	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式、支部総会を開催するための支援をします。	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式の支援を実施しました。支部総会を開催するための支援を実施しました。	平成27年度の支部総会、分区総会、地区総会に向けた準備等の支援をします。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 事業が継続できるように予算要求する。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	保護司会が行うことと事務局が行うことを分担し、会の自主的運営を支援することで、より効率のよい事務局事務の執行が図ることができるように進めています。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	03010206															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	保護司会活動を行政が支援することにより、罪を犯した人々の更生を助け、地域社会の犯罪予防を行う活動といった保護司の任務を十分に果たすことができます。今後も会の円滑な運営を維持するため、行政が事務局を担当することは必要です。	保護司会活動を行政が支援することにより、罪を犯した人々の更生を助け、地域社会の犯罪予防を行う活動といった保護司の任務を十分に果たすことができます。今後も会の円滑な運営を維持するため、行政が事務局を担当することは必要です。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	社会における犯罪の多様化、低年齢化等により、明るい社会を築くため保護司の役割は大きくなり、負担が大きくなっています。安全・安心なまちづくりを進めるため、保護司活動の支援として行政の保護司会事務局事務活動の継続が必要です。諏訪地区サポートセンターの運営について連携、支援をします。	社会における犯罪の多様化、低年齢化等により、明るい社会を築くため保護司の役割は大きくなり、負担が大きくなっています。安全・安心なまちづくりを進めるため、保護司活動の支援として行政の保護司会事務局事務活動の継続が必要です。諏訪地区サポートセンターの運営について連携、支援をします。								
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	更生保護女性会事務局事務			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010204							
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人			連絡先	303							
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり										
			施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進											
			細施策	05	地域自立生活支援											
			事務事業	02	地域生活支援事業											
予算事業名							会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	03
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市更生保護女性会の運営に関する事務局事務 ・更生保護女性会の事業 役員会 定期総会 各地区による活動 地域社会浄化活動 更生保護大会への参加 各運動への協力（社会を明るくする運動・青少年を非行から守る運動・青少年健全育成活動）															
現状と背景 （どうして）	地域社会における連帯感の減少や人間関係の希薄化等、社会情勢は大きく変化している。社会奉仕の精神をもって、保護司会と両輪として更生を助けるとともに、犯罪予防のため世論の啓発に努める活動を推進、支援するために茅野市では事務局を引き受けている。															
目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 更生保護女性会														
	対象 （直接働きかける）	更生保護女性会														
	意図	更生保護活動が円滑に行えるようにする。														
手段・方法 （どうやって）	茅野市更生保護女性会の運営に関する事務局事務を行う ・計画に基づく総会等への参加要請（会議室予約、開催通知の発送、参加人員の把握、資料等の準備など） ・更生保護女性会の事業が円滑に行われるよう援助 ・更生保護女性会の組織力を高めるよう役員との連携を図る。															
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値							
		更生保護活動の推進のためのミニ集会の開催	ミニ集会の開催	回	市内のミニ集会開催回数				7							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値							
		更生保護女性会員数を増やす	更生保護女性会員数	人	茅野市更生保護女性会員数				235							

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円		130,000	130,000	130,000	130,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円		130,000	130,000	130,000	130,000	
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人		0.10	0.10	0.10			
合計	人		0.10	0.10	0.10			
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円		—	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円		—	2.00	2.00	2.00	2.00	
活動指標	ミニ集会の開催	目標	回	7	7	7		
		実績		5	4	4		
	達成率	%	—	71.43	57.14	57.14	—	
	—	目標	—					
		実績	—					
	達成率	%	—	—	—	—	—	
	成果指標	更生保護女性会員数	目標	人	235	235	235	235
			実績		225	216	204	235
達成率		%	—	95.74	91.91	86.81	100.00	
—		目標	—					
実績	—							
達成率	%	—	—	—	—	—		
備考	平成25年度茅野市からの補助金8万円を新たにいただき、社会福祉協議会から交付されていた補助金8万円を交付元を茅野市にまとめ、併せて13万円を茅野市から交付を受けることとなりました。							

事務事業名	更生保護女性会事務局事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010204
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目標	実績	課題
第1期	茅野市更生保護女性会総会の準備と開催への支援。	茅野市更生保護女性会総会の準備と開催の支援をしました。	研修会事業の実施への支援をする。
第2期	研修会開催への支援をする。	市内各地区で開催する防犯寸劇や薬物乱用防止などの会の活動支援を行いました。	長野県更生保護女性のつどい参加の支援、県外研修視察の支援を行う。
第3期	長野県更生保護女性のつどい参加の支援、県外研修視察の支援を行う。	市内各地区で開催する防犯寸劇や薬物乱用防止などの会の活動支援を行いました。	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰の支援、総会開催に向けての支援を行う。
第4期	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰の支援、総会開催に向けての支援を行う。	社会を明るくする運動作文コンテスト表彰の実施、総会開催に向けての準備の支援を行いました。	総会開催に向けての準備の支援を行う。

事中評価													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化特になし。	今後の方向性												
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）事業が継続できるように予算要求する。	方向性												
	<table border="1"> <tr> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	②	⑤	⑦	③	⑥	⑨	④	⑧	⑩	①		
②	⑤	⑦											
③	⑥	⑨											
④	⑧	⑩											
①													

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					4					4	A	
チェック																	
課題	更生保護女性会が行うことと事務局が行うことを分担し、会の自主的運営を支援することで、より効率のよい事務局事務の執行が図ることができるように研究する余地があります。															記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定	A
																前年度評価シート整理番号	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後														
		更生保護女性会活動を行政が支援することにより、罪を犯した人々の更生を助け、地域社会の犯罪予防を行う活動といった保護司のとの両輪として活動を任務を十分に果たすことができます。今後も会の円滑な運営を維持するため、行政が事務局を担当することは必要です。										更生保護女性会活動を行政が支援することにより、罪を犯した人々の更生を助け、地域社会の犯罪予防を行う活動といった保護司のとの両輪として活動を任務を十分に果たすことができます。今後も会の円滑な運営を維持するため、行政が事務局を担当することは必要です。								
	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後																
		成果の方向性	拡充		②	⑤	⑦	現状維持		③	⑥	⑨	縮小		④	⑧	⑩	休廃止		①		
		皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性											皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性									
	社会における犯罪の多様化、低年齢化等により、明るい社会を築くため保護司や更生保護女性会の役割は大きくなっています。安全・安心なまちづくりを進めるため、更生保護女性会の事務局の継続が必要です。事務局と更生保護女性会の役割を明確にし自主的運営を支援します。										社会における犯罪の多様化、低年齢化等により、明るい社会を築くため保護司や更生保護女性会の役割は大きくなっています。安全・安心なまちづくりを進めるため、更生保護女性会の事務局の継続が必要です。事務局と更生保護女性会の役割を明確にし自主的運営を支援します。											

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		社会福祉協議会助成事業（交付金）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010210							
担当部署		健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人		連絡先	303								
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり											
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進											
				細施策	05	地域自立生活支援											
				事務事業	02	地域生活支援事業											
	予算事業名								会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	各種団体の自立支援及び活動支援、各種団体と連携し地域福祉の推進を図ることを目的に助成金を交付する事業。																
現状と背景 （どうして）	地域福祉を推進する団体を対象に交付すべく、社会福祉協議会に交付し、社会福祉協議会から社会福祉に貢献する団体の交付するものです。																
目的	対象 （誰のために）	地域の社会福祉活動団体															
	対象 （直接働きかける）	社会福祉協議会															
	意図 （どんな状態にしたいか）	社会福祉活動団体が連携し地域福祉活動の推進をする状態。															
手段・方法 （どうやって）																	
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
		交付金交付額	交付金額	円	地域の社会福祉団体への交付金額				320,000								
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
		社会福祉団体の会員数	会員数	人	交付団体の会員数				750								

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	370,000	320,000	320,000	320,000
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職員数	一般財源	円	370,000	320,000	320,000	320,000	130,000	
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
状況	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
O （ ）	活動指標	交付金額	目標	円	370,000	320,000	320,000	320,000
		実績	円	370,000	320,000	320,000	320,000	
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	会員数	目標	人	750	750	750	750
			実績	人	707	707	608	608
			達成率	%	94.27	94.27	81.07	81.07
		-	目標	-				
	実績		-					
		達成率	%	-	-	-	-	
備考								

事務事業名	社会福祉協議会助成事業（交付金）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010210
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	交付金交付事務を行う。	交付交付を行いました。	次年度予算に向けて検討準備。
第2期	次年度予算に向けて検討準備。	補助金交付額について、予算額算定のための負担割合の検討を進めました。	次年度予算に向けて準備。
第3期	次年度予算に向けて予算額算定の検討。	補助金交付団体の状況調査を行い、1団体を市からの補助に変更する予算要求をしました。	次年度予算に向けて準備。
第4期	次年度予算額計上に向けて、予算額算定の検討。	見直しにより交付団体を1団体減としました。	次年度予算に向けて、補助金交付対象ボランティア団体について精査を進める。

事 中 評 価							
管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成果の方向性	②	⑤	⑦	
	社会福祉協議会が助成すべき団体かどうかの検討が必要である。		拡 充				
			現 状 維 持	③	⑥	⑨	
			縮 小	④	⑧	⑩	
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		休 廃 止	①			
	市が助成すべき団体については、当交付金の対象外とする。						
				皆 減	縮 小	現 状 維 持	拡 大
				コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック				レ	3				レ	3					4	B
課題	団体への補助金交付について、市と社会福祉協議会どちらが補助するかを検討が必要である。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		助成金交付について、市と社会福祉協議会が担う業務の見直しを行う。					助成金交付について、市と社会福祉協議会が担う業務の見直しを行う。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後							
	今後の方向性	成果の方向性	拡 充	②	⑤	⑦	成果の方向性	拡 充					
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ				
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小						
		休 廃 止	①				休 廃 止						
		皆 減			縮 小	現 状 維 持	拡 大	皆 減			縮 小	現 状 維 持	拡 大
		コ ス ト 投 入 の 方 向 性											
改革・改善策	平成28年度の助成金交付について、対象団体への補助を社会福祉協議会が行うべきかどうかの検討を行い、見直しを行う。					平成28年度の助成金交付について、対象団体への補助を社会福祉協議会が行うべきかどうかの検討を行い、見直しを行う。							

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹 内 武
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	コミュニティ運営協議会負担金	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010201
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり								
				施策	02	第2節 パートナーシップのまちづくりの推進								
				細施策	01	地域コミュニティづくりの推進								
				事務事業	03	地区コミュニティ運営協議会の運営事業								
	予算事業名				会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地区コミュニティ活動の一つとして、地区社会福祉協議会が進められています。地区社会福祉協議会の活動支援のため負担金を交付します。												
	現状と背景 （どうして）	地区コミュニティによる地域福祉の増進は重要な課題です。地域福祉の活動と目標となる地域福祉行動計画を策定し、これを実践していくなどまちづくりを進めるため地区社会福祉協議会の活発な活動が必要となっています。												
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	地区社会福祉協議会											
		対象 （ 直 接 働 き か け る ）	地区社会福祉協議会											
		意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	地域福祉行動計画の推進等により地域福祉の推進を図る。											
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	コミュニティ運営協議会												
N （ ）	活動 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		行動計画の推進	会議開催回数	回	行動計画に関する会議等				98					
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		支え合いマップ	マップ作成率	%	マップ作成数 / 行政区・自治会（98）				100					

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000	2,280,000		
職員数	人							
正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01			
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01			
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	41.00	41.00	41.00	41.00	41.00		
D （ ）	活動 指 標	会議開催回数	目標	回	98	98	98	98
			実績		75	75	75	76
	達成率	%	76.53	76.53	76.53	77.55	—	
	—	目標	—					
—	実績	—						
—	達成率	%	—	—	—	—		
O （ ）	成 果 指 標	マップ作成率	目標	%	100	100	100	100
			実績		71	71	72	72
	達成率	%	71.00	71.00	72.00	72.00	72.00	
	—	目標	—					
—	実績	—						
—	達成率	%	—	—	—	—		
備考								

事務事業名	コミュニティ運営協議会負担金	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010201
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目標	実績	課題
第1期	負担金交付の資料作成等準備を行い交付する。	負担金交付の資料作成等準備を行い交付しました。	次年度交付について検討準備。
第2期	申請の基づく負担金交付事務の実施。次年度交付について検討準備。	申請の基づく負担金交付事務の実施。次年度交付について検討準備。	次年度交付について検討準備。
第3期	申請の基づく負担金交付事務の実施。次年度交付について検討準備。	地区コミュニティ運営への負担金の一部としてのこの負担金のあり方を検討しました。	次年度予算計上に向けて、負担金のあり方や額等を検討。
第4期	次年度予算計上に向けて、負担金のあり方や額等を検討。	負担金は団体への交付から事業への交付に変更し、名称を「地域福祉推進事業負担金」としました。	名称変更だけでなく、実態が事業への負担金となるよう検討が必要。

事中評価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 地区コミュニティ運営協議会経由負担金について、庁内で検討を行いました。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
今後の方向性	拡充		②	⑤	⑦													
	現状維持		③	⑥	⑨													
	縮小		④	⑧	⑩													
	休廃止	①																
新年度の実実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 庁内検討の結果、予算額は前年と同額とし事業への負担金とし名称を変更することとしました。	<p>皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																	

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4	A
課題	第2次福祉21ピーンプランの大きな柱は、より身近な地域での福祉活動の推進です。地域の力による、一層の地域福祉の実現には、地域で話し合い・検討を行い、具体的に実践する福祉活動の実践が必要です。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	多くの地区で、ささえあいマップの作成が進みその更新もされています。ささえあいマップに限らず日頃の助け合いやあいさつ運動等が少しずつ浸透しています。						多くの地区で、ささえあいマップの作成が進みその更新もされています。ささえあいマップに限らず日頃の助け合いやあいさつ運動等が少しずつ浸透しています。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後																																						
	より多くの地域の皆さんが地域福祉行動計画を実践していけるよう地域の人への働きかけや周知の方法の検討が必要です。						より多くの地域の皆さんが地域福祉行動計画を実践していけるよう地域の人への働きかけや周知の方法の検討が必要です。																																					
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①			<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					今後の方向性	拡充				現状維持			レ	縮小				休廃止			
今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦																																								
	現状維持	③	⑥	⑨																																								
	縮小	④	⑧	⑩																																								
	休廃止	①																																										
今後の方向性	拡充																																											
	現状維持			レ																																								
	縮小																																											
	休廃止																																											
皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																																											

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	社会福祉協議会（小地域福祉活動推進事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03010209
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人
				連絡先	303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進
				細施策	05	地域自立生活支援
				事務事業	03	小地域福祉活動推進支援事業
	予算事業名			会計コード	001	款 03 項 01 目 01 事業 07
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域住民がお互い様の心で支えあうことができる地域づくりを目指して、福祉意識の醸成と住民が地域活動に気軽の参加できる仕組みづくりを進めます。この事業は社会福祉協議会が実施していますが、市内4か所の保健福祉サービスセンターの職員として、行政と連携・協働し推進しています。市は、補助金を交付し本事業を支援しています。				
	現状と背景 （どうして）	生活課題を抱えた人が地域で安心して暮らし続けられるよう、行政等の専門機関だけでなく、身近な地域の住民が手助けできるような働きかけと環境整備が必要です。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	茅野市社会福祉協議会			
		意図	市民ニーズに対応した幅広い福祉活動を展開できるようにする。			
	手段・方法 （どうやって）	茅野市社会福祉協議会				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		行動計画の推進	会議開催回数	回	行動計画に関する会議等	98
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		支え合いマップ	マップ作成率	%	マップ作成数 / 行政区・自治会（98）	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	2,326,000	2,326,000	2,311,000	26,025,000	19,482,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	2,326,000	2,326,000	2,311,000	26,025,000	19,482,000
職員数	人					
正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	41.00	42.00	41.00	469.00	352.00
活動指標	会議開催回数	目標	回	98	98	98
		実績	回	72	72	72
	達成率	%	73.47	73.47	73.47	73.47
	—	目標	—	—	—	—
実績		—	—	—	—	
—	達成率	%	—	—	—	—
	目標	—	—	—	—	
成果指標	マップ作成率	目標	%	100	100	100
		実績	%	73	73	73
	達成率	%	73.00	73.00	73.00	73.00
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
	達成率	%	—	—	—	—

備考 H21.22は主に行動計画策定のための会議数、行動計画ができたのでH23は計画推進・進行管理のための会議数に指標が変更になりました。
H22 ちの9 宮川6 豊平2 泉野2 H23ちの2 宮川8 米沢11 豊平13 玉川8 泉野6 金沢7 湖東12 北山7 中大塩7
H24 ちの3 宮川10 米沢10 豊平13 玉川9 泉野6 金沢6 湖東6 北山6 中大塩6

事務事業名	社会福祉協議会（小地域福祉活動推進事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010209
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目 標	実 績	課 題
第1期	補助金交付事務を行う。	補助金交付を行いました。	次年度予算に向けて検討準備。
第2期	次年度予算に向けて準備。	次年度の社会福祉協議会助成事業について、社会福祉協議会との協議を行いました。	次年度予算に向けて準備。
第3期	次年度予算に向けて予算額算定の検討。	次年度の小地域福祉活動推進事業について課内協議を行い、地域支援事業交付金を当事業に充当して補助金を減額することとしました。	次年度予算に向けて準備。
第4期	次年度予算額計上に向けて、予算額算定の検討。	地域支援事業交付金の対象事業と当事業の関係について課内、社会福祉協議会との協議を行いました。	生活支援体制整備事業との関係を整理する。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 前年度に見直しを行い事業に対する補助とした。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 生活支援体制整備事業との関係について協議し、新年度の補助額を減額することとした。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	前年度に小地域福祉活動の推進に関わる業務について、市と社会福祉協議会が担当する業務を再確認して補助金額の見直しを行った。本事業は福祉21ピナプランの根幹をなすものであり、極めて公共性が高いことから人件費を含めた事業に対して補助対象とした。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	小地域福祉活動の推進に関わる業務について、市と社会福祉協議会が担当する業務を再確認して補助金額の見直しを行う。	本事業は福祉21ピナプランの根幹をなすものであり、極めて公共性が高いことから人件費を含めた事業に対して補助対象とする。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ	
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小			
		休 廃 止	①				休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	小地域福祉活動の推進に関わる業務について、市と社会福祉協議会が担当する業務を再確認して補助金額の見直しを行う。					本事業は福祉21ピナプランの根幹をなすものであり、極めて公共性が高いことから人件費を含めた事業に対して補助対象とする。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	社会福祉協議会助成事業（法人運営事業）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010208				
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人			連絡先	303				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
			施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進								
			細施策	08	第2次福祉21ビーンズプランの推進								
			事務事業	01	第2次福祉21ビーンズプラン推進事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	社会福祉事業の健全な発達、社会福祉活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的に設立された茅野市社会福祉協議会が、市民に対する地域福祉サービスを総合的に提供できるよう支援する。											
	現状と背景 （どうして）	茅野市社会福祉協議会は協議会を運営するための財源に乏しく、その設立趣旨からも行政と密接な関係がある。地域福祉・在宅福祉の充実、社会福祉協議会の組織・財政基盤の強化、住民参加による体制整備のため支援を行う。											
	目的	対象	受益者 （誰のために）	福祉ニーズを必要としている市民									
		対象	対象 （直接働きかける）	茅野市社会福祉協議会									
		意図 （どんな状態にしたいか）	市民ニーズに対応した幅広い福祉活動を展開できるようにする。										
	手段・方法 （どうやって）	茅野市社会福祉協議会											
N （ ）	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値			
			社会福祉協議会との事業実施についての会議	会議回数	回	社会福祉協議会との会議を重ね、よりよい事業を実施する。				6			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
			対象人件費の負担割合	負担割合	%	負担額／対象人件費				70			

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況	事業費等 (a)	円	60,483,004	66,210,000	59,136,000	35,850,000	31,168,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	60,483,004	66,210,000	59,136,000	35,850,000	31,168,000	
職 員 数	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
D （ ）	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
O （ ）	市民一人当たりのコスト	円	1,077.00	1,183.00	1,060.00	646.00	563.00	
	活 動 指 標	会議回数	目標	6	6	6	2	
			実績	3	4	6	2	
		達成率	%	50.00	66.67	100.00	100.00	—
		—	目標	—	—	—	—	—
	—	実績	—	—	—	—	—	
	—	達成率	%	—	—	—	—	
	成 果 指 標	負担割合	目標	70	70	70	70	70
			実績	78	70	70	70	70
達成率		%	111.64	100.00	100.00	100.00	100.00	
—		目標	—	—	—	—	—	
—	実績	—	—	—	—	—		
—	達成率	%	—	—	—	—		
備考	平成24年度は23年度まで3年間受けていた国補助金がないため増額となりました。							

事務事業名	社会福祉協議会助成事業（法人運営事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010208
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目標	実績	課題
第1期	補助金交付事務を行う。	補助金交付を行いました。	次年度予算に向けて検討準備。
第2期	次年度予算に向けて準備。	次年度の社会福祉協議会助成事業について、社会福祉協議会との協議を行いました。	次年度予算に向けて準備。
第3期	次年度予算に向けて予算額算定の検討。	次年度の社会福祉協議会助成事業について、地域支援事業交付金の扱いについて課内協議を行いました。	次年度予算に向けて準備。
第4期	次年度予算額計上に向けて、予算額算定の検討。	次年度予算額について社会福祉協議会と協議を行いました。	人件費も含めた事業費補助とするが、実際の補助額の決定や精算の方法について検討が必要。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 当年度から人件費を含めた事業費補助に変更した。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 補助対象事業を精査し、補助金予算額を減額し予算要求する。	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
チェック					4					4					レ	3	B
課題	社会福祉協議会の業務内容について精査し、平成26年度予算で助成額の減額をした。今後も社会福祉協議会への事業支援のあり方の検討をし、効率的かつ効果的な支援ができるよう社会福祉協議会と協議を進める必要がある。																
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																
前年度総合評価判定	B																
前年度評価シート整理番号																	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	社会福祉協議会の事業に対する事業費補助に改め、人件費補助は廃止することとした。平成27年度及び28年度は市の予算内での補助率とする。						社会福祉協議会の事業に対する事業費補助に改め、人件費補助は廃止することとした。平成27年度及び28年度は市の予算内での補助率とする。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後				
	当年度に行った見直しをさらに進め、福祉21ピナズプランに沿った活動展開について精査し、効率的かつ効果的な支援ができるよう検討を進める必要があると考える。						当年度に行った見直しをさらに進め、福祉21ピナズプランに沿った活動展開について精査し、効率的かつ効果的な支援ができるよう検討を進める必要があると考える。			
今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦		成果の方向性	③	⑥	⑨	レ
拡充						現状維持				
現状維持						縮小				
縮小						休廃止				
休廃止	①					皆減	縮小	現状維持	拡大	
	コスト投入の方向性					コスト投入の方向性				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	戦没者等合同追悼式開催事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03010215
担当部署	健康福祉部 地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先
					303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり							
				施策	04	第4節 安心なまちづくりの推進							
				細施策	02	平和で安心な社会づくり							
				事務事業	01	非核平和事業の推進事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	01	事業	14
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	戦没者諸霊のご冥福を祈り、戦争のない恒久な平和の確立に積極的に貢献し、誰もが心豊かに暮らせる社会を築き上げることを目的に実施。戦没者追悼式を茅野市民館において開催、戦没者の追悼を行う。											
	現状と背景 （どうして）	平成25年度まで社会福祉協議会主催で実施し、行政として補助金を交付していた。平成26年度から市が主催となり式典を開催することとなった。											
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民									
			対象 （直接働きかける）	市民									
		意図 （どんな状態にしたいか）	戦没者の諸霊のご冥福を祈り、誰もが心豊かに暮らせる社会となるよう多くの市民に参加いただけるようになる。										
	手段・方法 （どうやって）	社会福祉協議会											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		開催周知広報回数	広報回数	回	一般への実施についての広報活動	2							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		式参加者数	参加者数	人	参加者数	200							

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
			事業費等(a)	円	337,000	309,000	288,681	303,038
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職員数	一般財源	円	337,000	309,000	288,681	303,038	314,000	
	正規職員	人	0.01	0.01	0.05	0.05		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.01	0.01	0.05	0.05		
状況	対象（者）数							
	延利用（者）数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
O （ ）	活動指標	広報回数	目標	回	2	2	1	1
			実績		0	0	1	1
			達成率	%	0.00	0.00	100.00	100.00
	-	-	目標					
			実績					
			達成率	%	-	-	-	-
	-	-	目標					
			実績					
			達成率	%	-	-	-	-
	成果指標	参加者数	目標	人	200	200	200	200
			実績		200	200	200	200
			達成率	%	-	100.00	100.00	100.00
-	-	目標						
		実績						
		達成率	%	-	-	-	-	
備考	平成26年度から市主催事業として開催します。ご遺族は減る状況ですので、今後一般の皆さんが追悼式の趣旨に則り、参加いただくようにすることが大切です。							

事務事業名	戦没者等合同追悼式開催事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03010215
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	303

期	目標	実績	課題
第1期	開催方法等の検討を行う。	前年の準備状況等について確認を行いました。	式典実施の具体的な内容について検討する。
第2期	式典を開催する。	式典を開催しました。	次年度予算に向けて準備。
第3期	次年度予算に向けて反省点を確認。	次年度予算に向けて反省点を確認。	次年度予算に向けて準備。
第4期	次年度予算計上に向けて、事業内容の検討。	事業内容の検討を行い、予算を決定しました。	次年度戦没者等合同追悼式開催のための準備を進める。

事中評価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 式典にかかる経費について、経費の上昇から予算不足が生じた。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
今後の方向性	拡充		②	⑤	⑦													
	現状維持		③	⑥	⑨													
	縮小		④	⑧	⑩													
	休廃止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 当年度の実績を基に、増額して予算要求する。	<p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>																	

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4	A
課題	平成26年度から市の事業として開催しています。前年までの反省を踏まえて次年度からの開催内容を検討する。															
記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	平成26年度から市の事業として開催しました。2年実施した反省を踏まえて次年度からの開催内容を検討する。						平成26年度から市の事業として開催しました。2年実施した反省を踏まえて次年度からの開催内容を検討する。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後																																				
	平成27年度の反省を踏まえて関係団体である遺族会と相談して、市主催の式典として目的が達成できるようにする。						平成27年度の反省を踏まえて関係団体である遺族会と相談して、市主催の式典として目的が達成できるようにする。																																			
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①			皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充				現状維持			レ	縮小				休廃止				皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性			
拡充	②	⑤	⑦																																							
現状維持	③	⑥	⑨																																							
縮小	④	⑧	⑩																																							
休廃止	①																																									
拡充																																										
現状維持			レ																																							
縮小																																										
休廃止																																										

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	第2次福祉21ピーナスプランの推進			事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	03010101
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名	両角香代	連絡先	302
計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
				施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進	
				細施策	08	第2次福祉21ピーナスプランの推進	
				事務事業	01	第2次福祉21ピーナスプラン推進事業	
	予算事業名	福祉21ピーナスプラン推進事業費			会計コード	001	款
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画・平成22年～平成29年）に基づき、社会福祉、保健・医療・生涯学習等の関連施策が総合的に実施されるよう、必要な情報を収集し、各施策の進捗状況を把握するだけでなく、関係機関や各部署同士の必要な連携が図られるよう調整する役割を果たします。						
現状と背景 （どうして）	第2次計画の大きな柱である「より身近な地域での地域福祉の展開」を図るため、地域のさまざまなニーズに対応できるように、関係部署が連携・協働できる体制を構築する必要があります。						
目的 的 的 手 段 ・ 方 法	対象 象 （直接働きかける）	受益者 （誰のために）	市民				
	対象 象 （直接働きかける）	保健・医療・福祉にかかわる関係機関（福祉21茅野など）や関係部署、地域で活動する団体、個人。相談支援が必要な人。					
目的 的 的 手 段 ・ 方 法	行政と市民の協働により第2次福祉21ピーナスプランを推進していく体制を構築する。						
目的 的 的 手 段 ・ 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・福祉に関する地域の拠点は保健福祉サービスセンターであり、担当課と保健福祉サービスセンターが連携した円滑な運営と、地域との協働を図るため、職員のスキルアップを目指す。 ・行政アドバイザーを活用したケアマネジメント研修等を通じて、職員による自主的な研修体制を整える。 ・ピーナスプランの検証と方向性について、福祉21茅野円卓会議を開催し協議していく。 ・市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員で、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成した。今年度は、支援チームを中心に、地区コミュニティ運営協議会等と協働しながら、現計画の検証及び次期計画の策定を進めます。 						
N 評 価 指 標 の 作 成	活動 指 標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		職員の資質向上	ピーナスプラン研修開催回数	回			10
		行政と市民の協働によるプランの推進	福祉21茅野会議の開催	回	福祉21茅野による会議の開催数		15
	成果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		課題解決・議案の審議	協議した課題等の数	件	福祉21茅野の会議で協議した課題の数		20
		地域福祉の推進	第二次地域福祉行動計画推進区・自治会数	件	第二次計画を推進する区・自治会数		96

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円			1,376,069	221,620	615,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円			1,376,069	221,620	615,000	
職員数							
正規職員	人	0.20	0.20	1.53	1.33		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.20	0.20	1.53	1.33		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	25.00	4.00	11.00	
D 活 動 指 標	ピーナスプラン研修開催回数	目標	回	10	10	10	5
		実績	回	3	5	3	2
	福祉21茅野会議の開催	目標	回	-	50.00	30.00	20.00
		実績	回	-	7	8	6
	地区推進会議	目標	回	-	140.00	53.33	40.00
		実績	回	-	80	82	10
O 成 果 指 標	協議した課題等の数	目標	件	3	20	20	20
		実績	件	-	0	15	6
	第二次地域福祉行動計画推進区・自治会数	目標	件	-	15	96	96
		実績	件	-	15	96	96
		目標	%	-	100.00	100.00	100.00
		実績	%	-	-	100.00	100.00
備考	平成26年度から主要事務事業を1つにまとめました。						

事務事業名	第2次福祉21ピーナスプランの推進	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	03010101
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名	両角香代	連絡先 302

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・(新人)議員ピーナスプラン研修の開催。 ・福祉21茅野円卓会議の開催 ・地域包括ケア検討部会の開催 ・「第二次地域福祉行動計画」完成お披露目会開催	・5月28日卓会議で地域包括ケア検討部会の立ち上げを承認 ・6月22日地域包括ケア検討部会を開催し、茅野市らしい地域包括ケアについて検討	・地域包括ケアシステムの検討を進める ・「第二次地域福祉行動計画」完成報告会&講演会の開催
第2期	・地域包括ケア検討部会の開催 ・「第二次地域福祉行動計画」完成報告会&講演会の開催 ・買い物弱者問題検討議員連盟との意見交換	・7月28日買い物弱者問題検討議員連盟との意見交換開催 ・7月29日「第二次地域福祉行動計画」完成お披露目&講演会開催 ・7月30日市議会議員(新人)を対象としたピーナスプラン研修を実施 ・9月7日幹事会を開催し、買い物弱者(移動販売)について検討	・買い物弱者(移動販売)についての事業者アンケート実施 ・「第二次地域福祉行動計画」の進捗管理実施 ・市民プラン行政評価を基礎としたピーナスプランの検証 ・第3次福祉21ピーナスプラン策定に向けた実施計画、スケジュールの検討 ・買い物弱者(移動販売)についての交通手段等アンケート実施
第3期	・ピーナスプラン研修の開催 ・市民プラン行政評価を基礎としたピーナスプランの検証 ・移動販売についての事業者アンケート実施	・移動販売等についての事業者アンケートを、商工課に依頼して実施 ・パートナーシップのまちづくり推進大会で地域包括ケアに関する討論参加 ・買い物弱者の交通手段アンケートを福祉21茅野・議員連盟で民生委員に依頼して実施 ・2月9日幹事会で、第3次ピーナスプラン策定について行政アドバイザーを交えて検討開始	・第3次福祉21ピーナスプラン策定に向けた実施計画、スケジュールの検討 ・買い物弱者(移動販売)についての交通手段等アンケート実施
第4期	・買い物弱者の交通手段アンケート実施 ・地域福祉審議会の開催 ・第3次福祉21ピーナスプラン策定の検討		・第3次ピーナスプラン策定に向け、行政アドバイザーとの検討 ・福祉21茅野再編について検討 ・買い物弱者(移動販売)の交通手段等アンケートの集計と報告

事 中 評 価																													
<p>当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化</p> <p>・地域包括ケア検討部会を立ち上げ、必要に応じ専門部会長等を交えた議論に入った。茅野市らしい地域包括ケアの検討が必要だったが、買い物弱者対策に集中した議論になっている。また、買い物弱者問題検討議員連盟との協働等について検討が必要</p> <p>新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)</p> <p>・第3次福祉21ピーナスプラン策定に向けた2年間の計画を立て、実施計画の策定と委託に伴う予算の組み立てを行う。</p>	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成 果</td> <td>拡 充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現 状 維 持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方 向 性</td> <td>縮 小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性</td> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	今	成 果	拡 充		②	⑤	⑦	後	の	現 状 維 持		③	⑥	⑨	の	方 向 性	縮 小		④	⑧	⑩	方 向 性	休 廃 止	①				
今	成 果	拡 充		②	⑤	⑦																							
後	の	現 状 維 持		③	⑥	⑨																							
の	方 向 性	縮 小		④	⑧	⑩																							
方 向 性	休 廃 止	①																											

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					3					4	B
課題	<p>・新たに立ち上げた地域包括ケア検討部会において、買い物弱者対策を含めた茅野市らしい包括ケアについて、実施した事業者&交通手段アンケートの集計・分析結果から、更なる検討が必要です。</p> <p>・各地域で行っている第二次地域福祉行動計画の推進について、進捗管理をしていく。</p> <p>・第2次福祉21ピーナスプランを推進しながらSC、CCのあり方を検討し、第3次福祉21ピーナスプランの策定に繋げていく。</p>															
CH E C K	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					前年度総合評価判定					B
評 価	第2次福祉21ピーナスプランを推進していく職員の資質向上と理念の継続のため、ピーナスプラン基礎研修に加え、法改正に伴う制度の理解及び実施に向けた研修が必要です。また、福祉21ピーナスプランの推進と第3次プランの策定に向け、行政アドバイザーからアドバイスや情報提供をいただく他、必要な指導、提言をいただきます。そして、地域福祉の更なる推進に向け、「第二次地域福祉行動計画」の推進に支援チームが関わり、福祉21茅野では茅野市らしい地域包括ケアシステムについても継続して検討していきます。					第2次福祉21ピーナスプランを推進していく職員の資質向上と理念の継続のため、ピーナスプラン基礎研修に加え、法改正に伴う制度の理解及び実施に向けた研修が必要です。また、福祉21ピーナスプランの推進と第3次プランの策定に向け、行政アドバイザーからアドバイスや情報提供をいただく他、必要な指導、提言をいただきます。そして、地域福祉の更なる推進に向け、「第二次地域福祉行動計画」の推進に支援チームが関わり、福祉21茅野では茅野市らしい地域包括ケアシステムについても継続して検討していきます。					前年度評価シート整理番号					03010101
改 革 ・ 改 善 策	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性										

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	成 果	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止
今 後 の 方 向 性										
方 向 性										
性										
(A C T I O N)	第2次福祉21ピーナスプランを検証し、根幹となるSCのあり方を検討して、第3次福祉21ピーナスプランを策定していく。また、福祉21との協同により、茅野市らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた検討も進めていく。					第2次福祉21ピーナスプランを検証し、根幹となるSCのあり方を検討して、第3次福祉21ピーナスプランを策定していく。また、福祉21との協同により、茅野市らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた検討も進めていく。				
改 革 ・ 改 善 策	必要な研修及び職員による研修を実施しつつ、地域では支援チームによる「第二次地域福祉行動計画」の推進支援を図っていく。					必要な研修及び職員による研修を実施しつつ、地域では支援チームによる「第二次地域福祉行動計画」の推進支援を図っていく。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	茅野市行政アドバイザー（福祉分野）委嘱事業	事業期間	平成 9 ~ 年度	整理番号	03010102
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名	両角香代
				連絡先	302

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり 施策 01 第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進 細施策 08 第2次福祉21ビーンズプランの推進 事務事業 -		
	予算事業名	行政アドバイザー活用事業費（総務課）		会計コード 001 款 02 項 01 目 01 事業 08		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市民と行政が一体となって進める活動を通じて明確になってくる課題の解決を図るためには、行政としても新たな計画の策定や既存の計画の見直しにより施策を推進していく必要があり、そのために既存の手法にとらわれない新たな視点や発想の転換、また、市職員の意識改革等に対して、専門家によるアドバイスを常に受ける。				
	現状と背景 （どうして）	平成9年4月より、行政アドバイザー（福祉分野）制度を導入している。行政アドバイザーは、市の求めに応じて様々な計画策定や政策立案に随時、有効なアドバイスや情報提供をいただく必要がある。				
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	受益者 市民、職員、議員等				
	対象 （ 直 接 動 き か け る ）	市民、職員、議員等				
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	意 図	行政の事業に民間活力を積極的に導入し、高度化する行政課題に的確に対応していくことをめざして、市が抱える重点施策や新たな行政課題の計画や企画立案の段階から市民・職員のアドバイザーとして専門的な知識・経験や発想に基づくアドバイスをいただく。				
	手 段 ・ 方 法	次に掲げる事項に関し、市の求めに応じてアドバイスや情報の提供をいただくほか、必要に応じてアドバイザーとしての立場から指導、提言、会議への出席をする。 1. 茅野市の保健・医療・福祉に関する諸計画の策定と施策の推進への関与（平成26年度は、9地区（ちの地区は行政区）の第二次地区地域福祉行動計画の策定） 2. 今後の福祉社会に対応するための市職員及び市議会議員に対する指導、懇談等 3. 保健・医療・福祉に関する各種情報の収集、提供 4. 行政の他の分野における計画策定等への福祉的な見地からの間接的な関与 5. その他必要な事項				
N （ ）	活動 指 標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		行政アドバイザー	委嘱状況	人	民間活力の導入	1
		アドバイス・相談	アドバイス・相談件数	件		30
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		地域福祉の推進	アドバイス・相談件数	件		50
		地域福祉の推進	アドバイスにより推進した事業・解決した課題	件		10

実 施 状 況 （ ）	項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
	財 源 内 訳	事業費等 (a)	円	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円						
一般財源		円	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
正規職員		人	0.15	0.20	0.20	0.20		
嘱託職員		人						
臨時職員		人						
合 計		人	0.15	0.20	0.20	0.20		
D （ ）	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00	
	活 動 指 標	委嘱状況	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1	1
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
		ア ド バ イ ス ・ 相 談 件 数	目標	件	30	30	30	30
	実績		件	26	61	43	48	
達成率	%		86.67	203.33	143.33	160.00	-	
—	目標		件					
成 果 指 標	アドバイス・相談件数	目標	50	50	50	50	50	
		実績	26	61	43	48	50	
	達成率	%	52.00	122.00	86.00	96.00	100.00	
	アドバイスにより推進した事業・解決した課題	目標	件	10	10	10	10	10
実績		件			6	5	5	
達成率	%	-	-	60.00	50.00	50.00		
備 考								

事務事業名	茅野市行政アドバイザー（福祉分野）委嘱事業	事業期間	平成 9 ~	年度	整理番号	03010102
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉21推進係	作成担当者名	両角香代	連絡先 302

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・メール、電話での随時相談 ・来庁時、ピーナスプラン研修実施と各種課題についての相談。 ・(新人)市会議員を対象としたピーナスプラン研修の実施	・メール、電話での随時相談。・来庁時、どんぐりプランの見直し、生活困窮者支援についての相談。	・関係各課の相談・打合せ等が増加傾向にある。限られた来庁回数の中で効率よく行うには、調整が必要。
第2期	・メール、電話での随時相談 ・来庁時、ピーナスプラン研修実施と各種課題についての相談。 ・「第二次地域福祉行動計画」の完成報告	・メール、電話での随時相談。 ・7月27日第二次地域福祉行動計画完成報告&講演会 ・7月28日(新人)市会議員を対象としたピーナスプラン研修を実施	・関係各課の相談・打合せ等が増加傾向にある。限られた来庁回数の中で効率よく行うには、調整が必要。
第3期	・メール、電話での随時相談 ・来庁時、ピーナスプラン研修実施と各種課題についての相談。	・メール、電話での随時相談	・関係各課の相談・打合せ等が増加傾向にある。限られた来庁回数の中で効率よく行うには、調整が必要。
第4期	・メール、電話での随時相談 ・来庁時、ピーナスプラン研修実施と各種課題についての相談。 ・行政アドバイザーと福祉21茅野との懇談実施	・メール、電話での随時相談 ・2月9日幹事会に出席、第3次ピーナスプラン策定について検討	・関係各課の相談・打合せ等が増加傾向にある。限られた来庁回数の中で効率よく行うには、調整が必要。 ・第3次福祉21ピーナスプラン策定について、次年度研修テーマについての相談

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 限られた時間の中で、アドバイザーへの相談、研修、会議等への出席をより計画的に実施する必要があります。また、茅野市らしい地域包括ケアシステムの構築について教授いただくことが必要です 各地区での「第二次地域福祉行動計画」の実施・検証方法等についても、相談しながら円滑に推進していくことが必要です。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 向 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） これまでの実績に加え、第3次福祉ピーナスプランの策定に向けたアドバイザーの活用を検討していくことが必要です これまでの研修や相談に加え、茅野市らしい地域包括ケアシステムの構築に向けたアドバイスが必要です。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	福祉分野の行政アドバイザーとして、平成27年度から2回目の委託をしています。市役所への来庁回数に限られている中、地域福祉推進課以外からの相談回数も増えています。限られた時間の中で、相談、研修の開催、会議への出席など調整していくことが必要になり、加えて第3次福祉21ピーナスプランの策定に関して、アドバイザー業務との調整が必要です。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03010102															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	福祉施策を学びながら保健・医療・福祉を推進し、研修を通して職員 の意識や資質の向上にも貢献いただいています。 茅野市らしい地域包括ケアシステムの構築に向けて、今後も意見や情報 をいただくことで、方向性が見えてくると思います。 また、第2次福祉21ピーナスプランの推進と並行して第3次福祉21 ピーナスプランの策定をしていく上で、このまま継続して事業を進め ることが適当だと思われま。	福祉施策を学びながら保健・医療・福祉を推進し、研修を通して職員 の意識や資質の向上にも貢献いただいています。 茅野市らしい地域包括ケアシステムの構築に向けて、今後も意見や情報 をいただくことで、方向性が見えてくると思います。 また、第2次福祉21ピーナスプランの推進と並行して第3次福祉21 ピーナスプランの策定をしていく上で、このまま継続して事業を進め ることが適当だと思われま。								
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	行政アドバイザーとして来庁いただく日に合わせて相談、研修等の予定を立てることにより、第3次福祉21ピーナスプランの策定に向けた委託業務と併せて来庁時間を確保することで、次年度は柔軟な対応をしていく。	行政アドバイザーとして来庁いただく日に合わせて相談、研修等の予定を立てることにより、第3次福祉21ピーナスプランの策定に向けた委託業務と併せて来庁時間を確保することで、次年度は柔軟な対応をしていく。								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業			事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03040107
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	依田 利文	連絡先	82-0026
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
			施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進		
			細施策	09	地域福祉行動計画推進の支援		
			事務事業	03	-		
予 算 事 業 名				会計コード	001	款	03
				項	01	目	01
				事業	09		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画）において地域コミュニティによる地域福祉の増進を重要課題として位置づけ、地域での地域福祉の推進を図るために、それぞれの地区に「地域福祉行動計画」を策定していただきました。平成22年度にはすべての地区（ちの地区は各行政区）での策定が終了し、各地区ならびに区・自治会で実践が進んでいます。						
現状と背景 （どうして）	第2次福祉21ピーナスプランの大きな柱である、より身近な地域での地域福祉の展開を図るためには、地区や行政区・自治会での福祉活動を活性化させ、継続させていくことが必要であるから。						
目 的	受益者 （誰のために）	全市民					
	対象 （直接働きかける）	地域の中で福祉活動を行っている主体組織及び個人（地区コミュニティ運営協議会健康福祉部会、地区社会福祉協議会、区・自治会）					
	意 図 （どんな状態にしたいか）	地域の中で展開されている福祉活動が、計画的かつ主体的に推進されるようになり、身近な地域での見守り・支えあいのしくみができること。					
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成した。今後は保健福祉サービスセンターが中心となり、地域が進めていく行動計画の実践について窓口となって、チームとして支援をしていく。						
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		地区での実践に係る会議の開催	年地区開催回数	回			10
		区・自治会での実践に係る会議の開催	年開催回数	回	全ての区・自治会での会議の開催		98
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		計画の実践（地域福祉の実践）	実践件数	件	実施件数		
		区・自治会での地域福祉の推進体制の構築	構築数	%	構築数÷市内区・自治会数×100		100

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円							
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円							
職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合 計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	40.00		
D （ ）	活動指標	年地区開催回数	目標	回	10	10	60	10
			実績	回	10	10	47	15
		達成率	%	100.00	100.00	78.33	150.00	-
	-	年開催回数	目標	回	98	98	98	98
			実績	回	4	4	5	5
		達成率	%	4.08	4.08	5.10	5.10	-
成果指標	実践件数	目標	件	10	10	45	50	
		実績	件	10	67	50	45	
	達成率	%	100.00	670.00	111.11	90.00	100.00	
構築数	目標	目標	%	10	10	10	10	
		実績	%	10	10	10	10	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
備考								

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03040107
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	依田利文	連絡先 82-0026

期	目標	実績	課題
第1期	地域で行われる会議への出席	・地区コミュニティ運営協議会に関する会議 ・地区コミュニティ健康福祉部会に関する会議 ・地区社会福祉協議会に関する会議 ・参加回数(玉川、豊平、泉野の合計) 16回	・会議の内容を踏まえ、実現できる方向を検討する
第2期	地域で行われる会議への出席	・地区コミュニティ運営協議会に関する会議 ・地区コミュニティ健康福祉部会に関する会議 ・地区社会福祉協議会に関する会議 ・参加回数(玉川、豊平、泉野の合計) 7回	・会議の内容を踏まえ、実現できる方向を検討する
第3期	地域で行われる会議への出席	・地区コミュニティ運営協議会に関する会議 ・地区コミュニティ健康福祉部会に関する会議 ・地区社会福祉協議会に関する会議 ・参加回数(玉川、豊平、泉野の合計) 8回	・会議の内容を踏まえ、実現できる方向を検討する
第4期	地域で行われる会議への出席	・地区コミュニティ運営協議会に関する会議 ・地区コミュニティ健康福祉部会に関する会議 ・地区社会福祉協議会に関する会議 ・参加回数(玉川、豊平、泉野の合計) 9回	・会議の内容を踏まえ、実現できる方向を検討する

事中評価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 策定作業が終わり、計画の推進期に入っているが、地域に計画策定を終えての若干の安堵感があるように感じる。計画のための計画に終わらせないような進捗管理が必要になる。	今後の方向性																				
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td>レ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡大		レ		現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
成果の方向性	②	⑤	⑦																		
拡大		レ																			
現状維持	③	⑥	⑨																		
縮小	④	⑧	⑩																		
休廃止	①																				
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																				

評価年度	
------	--

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	
課題	<p>地区での実践や情報交換は進んできているが、区・自治会での実践への意識づけを進めていくことに重点を置く必要がある。 区・自治会での推進体制の整備を進めていくことが必要。</p>															
CHICK	<p>記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
	前年度総合評価判定					前年度評価シート整理番号										

総合評価	細施策評価前					細施策評価後									
	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。					推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。								
	前年度改革・改善策の実施状況					実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。	区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。					区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。			
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				

最終評価年月日	平成28年5月19日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業			事業期間	平成 23 ~ 年度	整理番号	03050108
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利恵	連絡先	82-0073
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進		
			細施策	09	地域福祉行動計画推進の支援		
			事務事業	01	地域福祉行動計画推進の支援事業		
予 算 事 業 名	西部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03
画	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)						
	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画）において地域コミュニティによる地域福祉の増進を重要課題として位置づけ、地域での地域福祉の推進を図るために、それぞれの地区に「地域福祉行動計画」を策定していただきました。平成22年度にはすべての地区（ちの地区は各行政区）での策定が終了し、各地区ならびに区・自治会で実践が進んでいます。						
	現状と背景 (どうして)						
	第2次福祉21ピーナスプランの大きな柱である、より身近な地域での地域福祉の展開を図るためには、地区や行政区・自治会での福祉活動を活性化させ、継続させていくことが必要であるから。						
P	目 対	受 益 者	全市民				
		対 象	地域の中で福祉活動を行っている主体組織及び個人（地区コミュニティ運営協議会健康福祉部会、地区社会福祉協議会、区・自治会）				
	的 意 図	地域の中で展開されている福祉活動が、計画的かつ主体的に推進されるようになり、身近な地域での見守り・支えあいのしくみができること。					
		・市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成した。今後は保健福祉サービスセンターが中心となり、地域が進めていく行動計画の実践について窓口となって、チームとして支援をしていく。					
A	手 段 ・ 方 法 (どうやって)						
	・市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成した。今後は保健福祉サービスセンターが中心となり、地域が進めていく行動計画の実践について窓口となって、チームとして支援をしていく。						
N	評 価 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		活動指標	地区での実践に係る会議の開催	年地区開催回数	回		2
		区・自治会での実践に係る会議の開催	年開催回数	回	地区内全ての区・自治会での会議の開催	32	
	成 果 指 標	成 果 ・ 効 果 は 何 ？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
	計画の実践（地域福祉の実践）	実践件数	件	実施件数			
	区・自治会での地域福祉の推進体制の構築	構築数	%	構築数÷市内区・自治会数×100	100		

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人	0.25	0.25	0.25	0.25		
対 象 (者) 数							
延 利 用 (者) 数 (b)							
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受 益 者 負 担 額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	円	-	-	-	-	-	
D	活 動 指 標	年地区開催回数	目標	回	2	2	2
			実績	回	2	3	2
	達成率	%	100.00	150.00	100.00	100.00	
	年開催回数	目標	回	32	32	32	32
		実績	回	18	0	7	5
	達成率	%	56.25	0.00	21.88	15.63	-
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	
O	成 果 指 標	実践件数	目標	件	2	2	2
			実績	件	2	2	2
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	構築数	目標	%		100	100	100
実績		%		100	100	100	
達成率	%	-	-	100.00	100.00	100.00	
備 考							

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 23 ~	年度	整理番号	03050108	
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域で行われる会議への出席	・宮川 2回 ・金沢 2回	地域福祉行動計画について運協の活動推進
第2期	地域で行われる会議への出席	・宮川 2回 ・金沢 0回	地域福祉行動計画について運協の活動推進
第3期	地域で行われる会議への出席	・宮川 2回 ・金沢 0回	地域福祉行動計画について運協の活動推進
第4期	地域で行われる会議への出席	・宮川 1回 ・金沢 0回	地域福祉行動計画について運協の活動推進

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特にありません。	今 成 拓 充 後 の 果 の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 第2次地域福祉行動計画の実施。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	前年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	
課 題	<p>地区での実践や情報交換は進んできているが、区・自治会での実践への意識づけを進めていくことに重点を置く必要がある。 区・自治会での推進体制の整備を進めていくことが必要。</p>															
記 号 の 定 義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	03050112															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。					推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要である。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。	区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。					区・自治会の推進体制の整備。 福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。			
今 後 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成28年4月11日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03060107	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 昌夫	連絡先	82-0107

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域で行われる会議への出席	ちの地区 1回 米沢地区 1回 中大塩地区 1回	地域福祉行動計画について運協の活動推進
第2期	地域で行われる会議への出席	ちの地区 1回 米沢地区 1回 中大塩地区 1回	地域福祉行動計画について運協の活動推進
第3期	地域で行われる会議への出席	ちの地区 1回 米沢地区 1回 中大塩地区 1回	地域福祉行動計画について運協の活動推進
第4期	地域で行われる会議への出席	ちの地区 1回 米沢地区 1回 中大塩地区 1回	地域福祉行動計画について運協の活動推進

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 方 向 性 方 向 性
無し	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
今年度と同様に実施する	

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4					4	
課題	<p>地区での実践や情報交換は進んできているが、区・自治会での実践への意識づけを進めていくことに重点を置く必要がある。</p> <p>区・自治会での推進体制の整備を進めていくことが必要。</p>															記号の定義					
																前年度総合評価判定	A				
																前年度評価シート整理番号	03060107				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。									
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	区・自治会の推進体制の整備。福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。	区・自治会の推進体制の整備。福祉推進委員会を中心とした、地域課題への取り組みや支えあいマップの作成と更新。									
改革・改善策						改革・改善策					

最終評価年月日	平成28年4月11日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業			事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03070112
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	伊藤 浩幸	連絡先	77-3000
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策	01	第1節 福祉21ピーナスプラン（地域福祉）の推進		
			細施策	09	地域福祉行動計画推進の支援		
			事務事業	01	地域福祉行動計画推進の支援事業		
予 算 事 業 名	福祉21ピーナスプラン推進事業			会計コード	001	款	03
				項	01	目	01
				事業	09		
画	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)						
	第2次福祉21ピーナスプラン（茅野市地域福祉計画）において地域コミュニティによる地域福祉の増進を重要課題として位置づけ、地域での地域福祉の推進を図るために、それぞれの地区に「地域福祉行動計画」を策定していただきました。平成22年度にはすべての地区（ちの地区は各行政区）での策定が終了し、各地区ならびに区・自治会で実践が進んでいます。						
	現状と背景 (どうして)						
	第2次福祉21ピーナスプランの大きな柱である、より身近な地域での地域福祉の展開を図るためには、地区や行政区・自治会での福祉活動を活性化させ、継続させていくことが必要であるから。						
P	目 対 象	受益者 (誰のために)	全市民				
		対象 (直接働きかける)	地域の中で福祉活動を行っている主体組織及び個人（地区コミュニティ運営協議会健康福祉部会、地区社会福祉協議会、区・自治会）				
		意 図 (どんな状態にしたいか)	地域の中で展開されている福祉活動が、計画的かつ主体的に推進されるようになり、身近な地域での見守り・支えあいのしくみができること。				
L	手 段 ・ 方 法 (どうやって)		・市（保健福祉サービスセンター・地区コミュニティセンター・地域福祉推進課）と社会福祉協議会の職員が、地域福祉行動計画推進を支援するチームを構成した。今後は保健福祉サービスセンターが中心となり、地域が進めていく行動計画の実践について窓口となって、チームとして支援をしていく。				
N	評 価 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		活動指標	地区での実践に係る会議の開催	年地区開催回数	回		
		地区・自治会での実践に係る会議の開催	年開催回数	回	全ての区・自治会での会議の開催		
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
	計画の実践（地域福祉の実践）	実践件数	件	実施件数			
	地区・自治会での地域福祉の推進体制の構築	構築数	%	構築数÷市内区・自治会数×100	100		

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円							
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円							
職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20			
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20			
対象（者）数		13	16	15	15			
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-		
D	活動指標	年地区開催回数	目標	回	19	16	15	15
			実績	回	19	16	15	15
	年開催回数	目標	%	98	98	90	90	
		実績	%	8	59	48	46	
	-	達成率	%	8.16	60.20	53.33	51.11	
		目標	%	-	-	-	-	
O	成果指標	実践件数	目標	件				
			実績	件				
	構築数	目標	%					
		実績	%					
達成率	%							
備考								

事務事業名	地域福祉行動計画推進の支援事業	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03070112	
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	伊藤 浩幸	連絡先	77-3000

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域で行われる会議への出席(運協・健康福祉部会・区長会・地区社協等)	・湖東 2回 ・北山 2回	地域福祉行動計画について運協健康福祉部会の活動推進
第2期	地域で行われる会議への出席(運協・健康福祉部会・区長会・地区社協等)	・湖東 1回 ・北山 3回	地域福祉行動計画について運協健康福祉部会の活動推進
第3期	地域で行われる会議への出席(運協・健康福祉部会・区長会・地区社協等)	・湖東 2回 ・北山 2回	地域福祉行動計画について運協健康福祉部会の活動推進
第4期	地域で行われる会議への出席(運協・健康福祉部会・区長会・地区社協等)	・湖東 3回 ・北山 0回	地域福祉行動計画について運協健康福祉部会の活動推進

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 特になし。	①
	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4					4					4					3	B
課題	<p>地区での実践や情報交換は進んできているが、区・自治会での実践への意識づけを進めていくことに重点を置く必要がある。 区・自治会での推進体制の整備を進めていくことが必要。</p>															記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																					
前年度評価シート整理番号																					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。					推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。	推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。					推進支援チームが構成され、各地区での地域福祉に関する動きが活発化してきている。 この支援チームを中心に、地域での推進への戦略を考えていくことが必要と思います。				

最終評価年月日	平成28年4月12日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	牛山 隆
---------	------------	---------	-----------------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	温泉施設管理運営事業	事業期間	平成 18 ~ 年度	整理番号	03010216
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人
				連絡先	303

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	01	第1節 福祉21ビーンズプラン（地域福祉）の推進
				細施策	10	福祉・コミュニティ温泉の活用
				事務事業	01	温泉施設管理運営事業
	予算事業名			会計コード	001	款 03 項 01 目 08 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市民の福祉と健康増進を目的とした6つの温泉施設があり、これらの温泉施設は生活圏の階層化に配慮し、それぞれが特色を持った快適な温泉施設となっている。温泉を活用することで、疲労回復や身体をリフレッシュし、利用者の健康増進が図られている。また、地域の人々が集い交流することで、情報の収集や高齢者の孤立防止が図られるなど、福祉コミュニティ温泉として利用されている。				
	現状と背景 （どうして）	住まいから近くにあることで利用しやすい施設とするため、利用者から3km以内への設置を計画的に行ってきた。市民の余暇が増える中、健康増進と地域のふれあいの場としての福祉施設として建設された。地方自治法の改正により施設の管理運営は事業者への委託でなく指定管理者が行うことになった。これにより委託料の削減も期待できると考える。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民及び市外の温泉利用者			
		対象 （直接働きかける）	温泉施設			
		意図 （どんな状態にしたいか）	利用者を増加させ市民同士の交流と健康増進を図る。			
	手段・方法 （どうやって）	施設の維持補修工事、改修工事や市民の要望に応える改善工事を行う。 施設の通年的管理運営について指定管理者（民間業者）に委託し実施する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		快適な利用環境の整備	施設維持・改修工事費	円		21,000,000
		施設管理の委託	管理委託料	円		60,000,000
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	温泉施設利用者数の増	延べ利用者数	人	H22年実績 624,185人 H23年 640,994人、 H24年 645,770人、H25年 655,133人、	664,000	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	96,500,348	105,564,000	108,283,392	110,242,790	108,673,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	96,500,348	105,564,000	108,283,392	110,242,790	108,673,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.63	0.62	0.62	0.62		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.63	0.62	0.62	0.62		
対象（者）数	人						
延利用（者）数 (b)	人	593,305	598,846	601,464			
単位コスト (a)/(b)	円	163	176	180	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	1,719.00	1,886.00	1,941.00	1,986.00	1,962.00	
活動指標	施設維持・改修工事費	目標	円	21,175,000	27,825,000	21,000,000	21,000,000
		実績	円	20,884,159	27,351,400	19,891,441	22,676,803
	達成率	%	98.63	98.30	94.72	107.98	-
	管理委託料	目標	円	59,204,800	58,783,000	61,035,000	60,737,000
実績		円	57,882,204	56,057,174	61,443,274	61,536,540	
達成率	%	97.77	95.36	100.67	101.32	-	
成果指標	延べ利用者数	目標	人	664,000	664,000	664,000	664,000
		実績	人	645,770	598,846	663,283	657,863
	達成率	%	97.25	90.19	99.89	99.08	100.90
	-	目標	-	-	-	-	-
実績	-	-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	

備考 平成24年度予算から実施計画を作成し規模の大きな工事の改修工事を計画的に行いました。改修工事費や管理委託料は施設の劣化に伴い増加するため、活動指標、最終目標値は年度の予算額とします。支出工事費額には25年度への繰越明許額も含めています。24年度から、延べ利用者数は、一括で指定管理をしている施設として温泉施設とカルチャーセンター合わせた数値としました。

事務事業名	温泉施設管理運営事業	事業期間	平成 18 ~	年度	整理番号	03010216
担当部署	健康福祉部	地域福祉推進課	福祉業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先
						303

期	目標	実績	課題
第1期	随時、施設の維持修繕工事を実施します。施設改修工事は予定工事の準備をするとともに緊急の改修工事に対応できるよう発注時期を検討します。	維持修繕工事を実施しました。河原の湯源泉タンク交換工事の施工方法の検討をしました。	維持修繕工事に関する随時の対応をするとともに、緊急修繕が必要となった場合の対応を行います。
第2期	随時、施設の維持修繕工事を実施します。施設改修工事は予定工事の準備をするとともに緊急の改修工事に対応できるよう発注時期を検討します。	維持修繕工事を実施しました。河原の湯源泉タンク交換工事、カルチャーセンター外壁補修工事を行いました。アクアランド茅野プール暖房設備・ろ過設備修繕工事の発注準備を行いました。	維持修繕工事に関する随時の対応をするとともに、緊急修繕が必要となった場合の対応を行います。
第3期	随時、施設の維持修繕工事を実施します。施設改修工事は予定工事の準備をするとともに緊急の改修工事に対応できるよう発注時期を検討します。	アクアランド茅野プール暖房設備・ろ過設備修繕工事の発注を行いました。	維持修繕工事に関する随時の対応をするとともに、緊急修繕が必要となった場合の対応を行います。
第4期	当初予定分と緊急に実施が必要となった施設改修工事の発注、工事施工を実施します。	縄文の湯源泉井戸水位計修繕工事、緊急工事として河原の湯給水ポンプ修繕工事、縄文の湯温泉スタンド昇温ボイラー交換工事を行いました。	平成28年度の施設改修工事の予定を作成する。また、緊急の施設改修工事が必要となった場合の対応を検討する。

事 中 評 価					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦
市の使用料見直しで、温泉施設の利用料見直しを行う。使用料等検討委員会において検討を行った。		現 状 維 持	③	⑥	⑨
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		縮 小	④	⑧	⑩
検討の結果市民の利用料は据え置きとし、市民以外の利用料を設定した。		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	市の予算約1億円を毎年管理事業費として支出しています。福祉温泉という位置付けであり、利用者は低額で利用できるようにしています。施設の経年劣化が進んでおり、サービス低下とならないように長期計画による修繕改修工事等を効果的に実施することが必要です。平成24年度から毎年同額の修繕改修工事費の予算としていますが、計画にない工事を行うことが必要な状況となっており、随時計画を見直しして工事を行います。維持管理費用が増加していることから、利用料の見直しを行った。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03010212															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	施設維持管理に係る修繕工事等を適時に効果的に実施し、より市民サービスの向上に努めたい。緊急度重要度の判断が難しくなっていることから施設改修工事の実施にあたっては検討が必要です。維持管理費用が増加していることから、利用料の見直しを行った。	施設維持管理に係る修繕工事等を適時に効果的に実施し、より市民サービスの向上に努めたい。緊急度重要度の判断が難しくなっていることから施設改修工事の実施にあたっては検討が必要です。維持管理費用が増加していることから、利用料の見直しを行った。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後																
	施設老朽化が進んでおり、また、温泉施設は機械設備が短命です。平成24年度からの実施計画に基づき、維持、修繕工事等を長期計画の下効率的・効果的に実施することが必要ですが、緊急の施設改修工事が必要なケースも増えており工事実施にあたっては検討が必要です。維持管理費用が増加していることから、利用料の見直しを行った。	施設老朽化が進んでおり、また、温泉施設は機械設備が短命です。平成24年度からの実施計画に基づき、維持、修繕工事等を長期計画の下効率的・効果的に実施することが必要ですが、緊急の施設改修工事が必要なケースも増えており工事実施にあたっては検討が必要です。維持管理費用が増加していることから、利用料の見直しを行った。																				
今 成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持		③	⑥	⑨	縮 小		④	⑧	⑩	休 廃 止	①				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	拡 充						現 状 維 持					縮 小									レ	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	地域福祉推進課長	竹内武
---------	------------	---------	----------	-----